

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

令和6年1月25日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

令和6年1月25日（木）午前9時30分～ 本庁舎4階大委員会室

2 出席者

健康課 松岡課長、穂崎主任看護師

3 件名

带状疱疹ワクチン接種費用助成事業の実施について

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

・ワクチンの接種費用は変動することはないのか。
 →任意の予防接種は、自由診療のため医療機関により接種費用を設定できる。不活化ワクチンについては、製造会社が外資系の1社のため、ワクチン代が高価となっている。

・他市町の接種費用の助成額を踏まえ、市の助成額をどのように捉えているか。
 →予防接種法の位置付けがなく、本人が接種を希望して受ける任意接種のワクチンであるので、半額助成ではなく4分の1程度としている。

・任意接種のワクチンでありワクチン接種費用の助成の必要性を明確に整理しておく必要がある。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 健康子ども部健康課

件名	帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業の実施について							
現状・課題	<p>帯状疱疹は水痘が治癒した後、神経節に潜伏感染している水痘・帯状疱疹ウイルスが、加齢や免疫力の低下により再活性化し発症する皮膚疾患で、50歳を過ぎると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれている。</p> <p>発症すると水疱を伴う発疹が帯状に現れ、皮膚にピリピリした痛みが続き、皮膚症状が治まった後も、合併症として帯状疱疹後神経痛(PHN)に移行し、長期に渡り痛みが続く場合があることから、帯状疱疹による生活の質の低下を招かないよう、発症の予防と重症化の防止が求められている。また、帯状疱疹への社会的な関心の高まりを受け、市民からワクチン助成についての問い合わせが昨年より増加傾向にある。</p> <p>帯状疱疹の予防には、健康的な生活習慣を保ち、免疫力を高めることが大切であるが、ワクチンの有効性も知見として得られている。帯状疱疹ワクチンを接種することで発症を予防するだけでなく、発症したとしても症状が軽くすみ、合併症や後遺症の発症リスクを軽減する効果が見込まれるが、ワクチン接種費用の経済的負担が大きいことが課題である。</p>							
付議事案	目的	帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成することで、経済的負担を軽減し、帯状疱疹の発症と重症化を予防する。						
	対応方策	<p>1. 事業概要 帯状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成する。</p> <p>(1) 助成対象者</p> <p>① 接種日時時点で50歳以上の人</p> <p>② 接種日時時点で市に住民登録がある人</p> <p>(2) 助成対象ワクチン、助成額、助成回数</p> <p>① 生ワクチン 2,000円(生活保護受給者は4,000円)/回 1人1回</p> <p>② 不活化ワクチン 5,000円(生活保護受給者は10,000円) /回 1人2回</p> <p>※助成は生ワクチン、不活化ワクチンのいずれか一方のみで、生涯に1度限り</p> <p>(3) 助成方法</p> <p>① 現物給付</p> <p>② 償還払い(接種した日から1年以内に申請)</p> <p>(4) 事業開始日・・・令和6年5月1日 (令和6年4月1日以降接種が対象で遡及対応する。)</p> <p>2. 財源 一般財源</p>						
論点(決定を要する事項)	<p>助成実施の有無</p> <p>助成内容(助成対象者、助成対象ワクチン、助成額、助成回数、事業開始日等)</p>							
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)	助成対象とするワクチンや助成金額についての明確な考えを示せるようにしておく必要がある。							
今後のスケジュール	令和6年3月		3月議会(令和6年度補正予算第1号)上程					
	令和6年4月		要綱作成					
	令和6年5月1日～		事業開始					
	項目	有無	方法(時期)		項目	有無	方法(時期)	
	条例規則	無			報道発表	有	プレスリリース	
議会説明	有	臨時の議員全員協議会		広報・HP等	有	広報、HP(令和6年5月)		
市民参加	無							
付議書公表	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input checked="" type="checkbox"/> 時限非 (臨時全協 まで)							
参考情報	関係法令等	なし						
	関係課	なし						
	事業費	5,981千円(うち特定財源				0千円)		
	カテゴリー	年代	高齢者	場所	市内全域	目的	健康・福祉	手段

帯状疱疹ワクチンの種類

ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
接種方法	皮下接種	筋肉注射
発生予防効果	49% ※1	89.8～97.2% ※2
効果の持続年数	5年程度	10年程度
接種費用	平均8,000円程度	平均21,000円程度(1回)
注意事項	免疫抑制状態にある人には接種ができない	
副反応	接種部位の腫れ、痛み、発赤、かゆみ、発疹などの局所反応で重篤な報告はない	接種部位の痛み、腫れ、発赤、等の局所反応、ショックやアナフィラキシー反応を含む過敏症状の報告がある

※1 厚生労働省第21回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価委に関する小委員会資料より

※2 シングリックス医薬品インタビューホームより

帯状疱疹ワクチン助成事業の実施状況

	市町名	開始時期	対象	助成ワクチンと助成額		助成回数
				生ワクチン	不活化ワクチン	
管内	印西市	実施について検討中				
近隣	鎌ヶ谷市	令和4年11月から	50歳以上の市民	費用の1/2(上限4,000円) 生活保護は全額	上限5,000円 生活保護は全額	生ワクチン1回 不活化ワクチン2回 ※いずれか一方
	我孫子市	令和5年1月から		2,000円 生活保護は4,000円	5,000円 生活保護は10,000円	
県内	いすみ市	令和4年4月から	・50歳以上の市民	/	10,000円 生活保護は全額	不活化ワクチン2回
	神崎町	令和5年1月から		/	10,000円	不活化ワクチン2回
	東庄町	令和5年4月から		4,000円 生活保護は全額	10,000円 生活保護は全額	生ワクチン1回 不活化ワクチン2回 ※いずれか一方
	長生村	令和5年4月から		費用の1/2(上限4,000円)	費用の1/2(上限10,000円)	
	多古町	令和5年5月から		費用の1/2(上限4,000円) 生活保護は全額	費用の1/2(上限10,000円) 生活保護は全額	
	習志野市	令和5年7月から		2,000円	5,000円	

資料3

他市の実績と白井市の見込み

開始時期	市町村名	50歳以上人口	R4年度実績				R5年度実績				
			生ワクチン		不活化ワクチン		生ワクチン		不活化ワクチン		
			接種人数	接種率	接種人数	接種率	接種人数	接種率	接種人数	接種率	
R4年4月開始	いすみ市	23,423	—	—	310	1.32%	—	—	223	0.95%	※11月末時点
R4年11月開始	鎌ヶ谷市	53,968	241	0.45%	368	0.68%	未集計	—	未集計	—	
R5年1月開始(4月遡り)	我孫子市	67,361	277	0.41%	324	0.48%	262	0.39%	699	1.04%	※10月末時点

我孫子市を参考とし、令和5年度の接種率を12ヶ月（1年ベース：生ワクチン0.7%、不活化ワクチン1.8%）で算出の上、白井市の50歳以上人口を乗じて接種人数を試算

開始時期	市町村名	50歳以上人口	R6年度試算			
			生ワクチン		不活化ワクチン	
			接種人数	接種率	接種人数	接種率
R6年4月開始	白井市	30,460	213	0.7%	548	1.8%

R6年補正予算額

【歳出】4款1項2目 - 02 感染症予防に要する経費

節	細節	内訳	合計額	計上額	
10節 需用費	消耗品	カラーインク 1箱	7,225円	8,710円	9千円
		上質紙A4サイズ(500枚入り) 675円×2冊×1.1	1,485円		
	印刷製本	予診票 1,000枚 1,000枚×21円×1.1	23,100円	23,100円	24千円
12節 委託料	予防接種委託料	生ワクチン 2,000円×169人	338,000円	4,762,000円	4,762千円
		※(生保)生ワクチン 4,000円×1人	4,000円		
		不活化ワクチン 5,000円×434人×2回	4,340,000円		
		※(生保)不活化ワクチン 10,000円×4人×2回	80,000円		
20節 補助金	带状疱疹ワクチン助成金	生ワクチン 2,000円×43人	86,000円	1,186,000円	1,186千円
		不活化ワクチン 5,000円×110人×2回	1,100,000円		
合計			5,979,810円	5,979,810円	5,981千円

※(生保)：令和6年1月1日現在の生活保護受給者の50歳以上252人に、接種率(生ワクチン0.7%、不活化ワクチン1.8%)を乗じて算出